



令和7年度 税に関する絵はがきコンクール表彰式

CONTENTS

- ▶ 新春講演会 2～3
- ▶ 税に関する絵はがきコンクール表彰式 4
- ▶ めざせ!食品ロス ゼロ 5
- ▶ 青年部会活動報告 6
- ▶ 税制改正に関する提言・セミナーのご案内 7
- ▶ 開催事業・支部事業・年会費口座振替サービス
ご利用のご案内 8

 **公益社団法人 盛岡法人会**

インターネットセミナーのご案内

ホームページから無料でセミナーがご覧いただけます。

<http://iwate-ho.jp/morioka/>

会員ID: hj1301

パスワード: 4955

新春講演会

記念事業を締めくくる新春講演会に

瀬古利彦氏と坂本広行宮司が登壇

2月4日（水）、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて、盛岡法人会の新春講演会が147名（うち一般市民29名）の参加により開催された。講演会に先立ち、浅沼晃会長が昨年の振り返りと午年である今年が飛躍の年となるようにと願いを込めて挨拶をされた。昨年6月のフリーアナウンサー・笠井信輔氏の講演会を皮切りに始まった、創立70周年社団化50周年記念事業の記念講演会の第3弾。前回は、大阪大学特任教授・藪中三十二氏による日本を取り巻く国際情勢についてだったが、今回の第一部はマラソン指導者・解説者の瀬古利彦氏が日本のマラソンについてユーモアを交えて講演、第二部は櫻山神社宮司・坂本広行氏による干支にまつわる話で、会場は終始、明るく新春らしい雰囲気になっていった。講演会に続き、女性部会主催「税に関する絵はがきコンクール」の表彰式が行われ、その様子はテレビや新聞で報道された。その後の新年交賀会では、盛岡法人会創立70周年社団法人化50周年記念事業の実行委員長の藤村吉隆氏が乾杯の挨拶に先立ち、周年事業が終了することの報告と御礼を述べた。



新年交賀会乾杯
齋清貴盛岡税務署長



新年交賀会挨拶
藤村吉隆実行委員長

【第一部】

心で走る

箱根駅伝のエースからマラソンリーダーへ

（株）ディー・エヌ・エー フェロー
DeNAランニングアカデミー育成アドバイザー 瀬古 利彦氏



講師 瀬古 利彦氏

今年の新春講演会は、元マラソン選手・瀬古利彦氏が「心で走る」箱根駅伝のエースからマラソンリーダーへ」をテーマに、夢を追いあきらめないことの大切さについてユーモアを交えながら熱く語った。定期的に第102回箱根駅伝で青山学院大学が2度目の3連覇を果たしたこともあり、マラソンシステムの改革や強化、若い世



代との人間関係の構築にも触れた。

瀬古氏といえば、現役時代、ストイックな姿勢から「走る修行僧」と称され、双子の宗茂・猛兄弟とともに日本のマラソンブームを牽引した第一人者。国内外で15戦10勝と圧倒的な戦績を残し、オリンピック日本代表としてモスクワ、ロサンゼルス、ソウルと3度にわたって選出されている。

瀬古氏が陸上競技（中距離）を始めたのが高校時代、マラソンを始めたのは早稲田大学で恩師・中村清監督に勧められてからだという。その中村監督との出会いは強烈だったらしい。

「入学したばかりの私たち学生の前

で『いまの早稲田が弱いのは学生の責任ではない。OBが悪いからだ。私が代表で謝る』と、自分の平手で自分の顔を殴り始めたのです」



さらに「おまえたちがトップになれるなら、雑草でも食べる」と言い放ったという。中村監督の真摯さに惹かれた瀬古氏は、中村監督と世界を目指すことになった。練習から食生活まで管理されることが嫌になったこともあったが、中村監督から教わることも多かったため、我慢もできた。そのとき、瀬古氏が気づいたのは「心で走る」と「継続は力なり」である。

「諦めてはダメ、諦めなかつたら、必ずいいことがある。例えば井戸を掘る。5メートル、10メートルと掘っても水が出ないからと諦めてはダメ。あと5センチ掘れば、水が出るかもしれないだから」と、諦めずに練習をすることが成果につながると話し、「泥臭いことを無駄に思わずに続けていくこと」の大切さを強調した。これを実践したのが、県庁職員で市民ランナーだった川内優輝選手だという。

「ほかの選手が練習で1000キロを走るなら自分は101キロ、5000

メートルを8本走るなら自分は10本走る。これを続けて1年後にボストンマラソンで優勝です」
これは、目標を達成するために計画的に努力するということにも通じるだろう。瀬古氏は引退後、指導者としてオリンピック選手を育てている。そし

て、数多くのマラソンレースを見てきた。その経験から恩師・中村監督、青山学院大学の原監督、駒澤大学の木前監督のように選手のためだけを考へて自らも努力する指導者には、選手もその親もついていき、レースで成果を上げているという。

「選手ひとりではがんばれないので、一緒にがんばる姿を見せることで、選手も努力しよう」と前向きになるので「とも話し、夢や目標に向かって努力している人を支えている指導者や家族、また経営者にも通じる、意義のある講演だった。」

【第二部】

午年にまつわるあれこれ

盛岡城址鎮座 櫻山神社 宮司 坂本 広行氏



講師 坂本 広行氏

第二部は、毎年恒例となっている櫻山神社宮司・坂本広行氏によるその年の干支をテーマにした講演。今年には60年に一度の「丙午」の年ということもあり、興味深い話の連続となった。

丙午は干支の組み合わせの43番目にあたり、「丙」も「午」も「陽の火」を意味し、火が重なることから激しさの象徴とされ、情熱と行動力で進む活気のある年になるといわれている。特に迷信も多く、その一因となったのが、

江戸時代にあった八百屋お七の振袖火事。そのため「丙午の女性は気性が荒い」という俗信が広まり、その影響は明治以降も続き、実際に1906年(明治39)、1966年(昭和41)の出生率が減少している。

南部盛岡藩は、馬(午)との縁が深いという。馬産地だったこともあり、平安時代から絵馬が多く奉納されているほか、道端に馬頭観音が残っていること、オシラサマの伝承、チャグチャグ馬コ、南部曲がり家からも、馬を大切にしてきたのがわかる。



参加者礼拝

最後に坂本氏は「丙午は強いエネルギーと変化の年となると予想されています。皆様の健康、平安、息災、弥栄をご祈念申し上げます」と締め、供えられた祭壇に向かい、参加者一同と共に二礼二拍手一礼の拝礼を行った。

女性部会 主催

令和7年度「税に関する絵はがきコンクール」表彰式



岩手県法人会連合会会長賞 受賞作品

岩手県法人会連合会会長賞



盛岡市立仙北小学校 及川花穂さん

岩手県女連協会会長賞



矢巾町立徳田小学校 熊谷心海さん

盛岡法人会会長賞



盛岡市立大慈寺小学校 八重樫花さん

2月4日、「新春講演会」にあわせて「税に関する絵はがきコンクール」表彰式が行われた。このコンクールは盛岡法人会女性部会が毎年開催しており、今年も盛岡地区の小学6年生575人が応募。これは昨年の125%増で過去最高の応募者数となり、当コンクールと税に対する関心の高さがうかがえた。

表彰に先立ち、池野環女性部長は、「税金が生活を守るために使われていることへの感謝、笑顔のために使われてほしいという願いが感じられ、どの作品も未来をより良くしようという力強いエネルギーにあふれていました」と講評。受賞者20人（うち1名欠席）には、壇上で表彰状と記念品が手渡された。

賞した盛岡市立仙北小学校の及川花穂さんの作品は、円型の道路上に病院や救急車などを描いたもの。受賞者を代表して挨拶した及川さんは、絵に「税によって勉強できる環境、安全に暮らせることに感謝をし、助け合いながら日本全体がつながってほしいという願いを込めた」と話し、「少子化・高齢化は進むなかで、未来を支えるために今はしっかりと勉強し、将来は納税して自分たちの責任を果たしたい」と締めると、会場内から大きな拍手が起こった。



テレビ局のインタビューに応じる及川さん

【盛岡地区関係】

入賞区分	氏名	学校名	学年
岩手県法人会連合会会長賞	及川花穂	盛岡市立仙北小学校	6年
岩手県法人会連合会女性部会連絡協議会会長賞	熊谷心海	矢巾町立徳田小学校	6年
盛岡法人会会長賞	八重樫花	盛岡市立大慈寺小学校	6年
盛岡法人会女性部会長賞	藤村のどか	盛岡市立大慈寺小学校	6年
盛岡税務署長賞	櫻糺真子	矢巾町立煙山小学校	6年
盛岡地区租税教育推進協議会会長賞	土井尻千紗	盛岡市立上田小学校	6年
岩手日報社長賞	川村姫子	盛岡市立土淵小学校	6年
学校奨励賞	伊藤怜叶	盛岡市立大慈寺小学校	6年
学校奨励賞	千葉愛来	盛岡市立仙北小学校	6年
学校奨励賞	八重畑未咲	紫波町立紫波東小学校	6年
入選	岩舘奈央	盛岡市立仙北小学校	6年
入選	嶋田進次郎	盛岡市立仙北小学校	6年
入選	吉田幸聖	盛岡市立仙北小学校	6年
入選	兼平望羽	矢巾町立煙山小学校	6年
入選	田村若夏	盛岡市立城南小学校	6年
入選	渡邊晏	盛岡市立上田小学校	6年
入選	山下芽希	滝沢市立鶴飼小学校	6年
入選	細野紗代	盛岡市立桜城小学校	6年
入選	内舘真有	盛岡市立太田小学校	6年
入選	阿部咲姫	矢巾町立矢巾東小学校	6年

入賞作品は、盛岡法人会ホームページで紹介しています。





めざせ！
食品ロス
ゼロ

できることから始めてみよう！

国立大学の予算はごみ処理費の半分以上!?
ごみの少ない自治体ベスト10

食品ロス問題ジャーナリスト 井出 留美

お住まいの自治体が、どれくらいの量のごみを出しているか、調べたことはありますか？

環境省が、毎年3月末に、一般廃棄物の排出及び処理状況について発表しています。

一般廃棄物の処理には年間2兆2912億円もの税金が使われています。このお金は、私たちが働いて納めた税金です。

先日、築地本願寺で食品ロスの講演をしたとき、講演終了後に国立大学名誉教授の方が名刺交換にいられました。その方は「国立大学の予算はいくらか知っていますか？」と私に質問しました。知らないと答えると「先ほど、ごみ処理にかかる税金の半分以上以下

ですよ」とおっしゃいました。帰ってから調べてみると、国立86大学への運営費交付金は2024年度で約1兆526億円、研究機構も含めた90法人には約1兆1422億円で、確かに年間ごみ処理費の半分以上でした。現在と将来の投資である大学教育の予算が、ごみ処理費の半分以上ということに衝撃を受けました。できるだけごみを減らせば、その分、節約できた税金を教育や福祉、医療、雇用など、有用なことに費やすことができます。

では、どうすればごみを減らせるのか。ここで肝心なのが、食品ロスを含む「生ごみ」です。生ごみは重さの80%以上が水。重くて燃えにくく、エネルギーやコストを費やします。世界の焼却所のうち半分以上がある日本ではごみ焼却率が80%と、OECD加盟国でワースト1位。食品ロスや生ごみを減らせば、あるいは乾燥させれば、圧倒的にごみ量は減るのです。以下に示した3つのグラフは、1人1日あたりのごみ排出量が少ない自治体のランキングです。それぞれ、人口区分別に「50万人以上」「10万人以上50万人未満」「10万人未満」に分かれ

ています。ごみが少ない自治体は、生ごみを減らしています。住民自身でコンポスト（堆肥）にしたり、乾燥させたり、水きりしたりなど、さまざまな工夫をしています。中でも、人口10万人未満の区分で1位と2位になっている長野県の南牧村と川上村は、自治体が生ごみを集めています。すべて、住民自身が堆肥化するなどして処理しています。

ごみを減らすには食品ロスを減らすこと。

「分ければ資源 混ぜればごみ」
貴重な税金を有効に活用するために食品ロスや生ごみを減らしてみませんか？

【筆者紹介】井出留美（いで・るみ）

奈良女子大学食物学科卒、博士（栄養学）
東京大学大学院農学生命科学研究科）
ライオン、青年海外協力隊（JICA）、
日本ケロッグ広報室長等歴任。東日本大震災食料支援での廃棄に衝撃を受け、(株)office 311を設立。食品ロス削減推進法成立に協力した。『賞味期限のウソ』（幻冬舎新書）、『捨てないパン屋の挑戦』（あかね書房）など著書多数。



(グラフ制作：Hitomi Kawafuchi)

青年部会活動報告

令和7年度第2回研修会 「昨今の熊事情・狩猟免許制度について」

開催日：令和8年2月17日 会場：アートホテル盛岡

今回、令和7年度第二回研修会を「昨今の熊事情・狩猟免許制度について」と題し、去る令和8年2月17日アートホテル盛岡で開催いたしました。

講師に、花巻市猟友会東支部長の佐々木貴世子氏をお招きし、熊が街なかに出没したことで経済状況にも影響しつつあり、私たちの心配や関心が高まる中、面白かつ楽しく熊や猟友会についてお話頂き、あつという間の時間を過ごしました。

講師の佐々木氏が狩猟免許を取得した後、とにかく楽しく山へ向かう姿勢に、頼もしさや驚きとワクワク感まで感じるお話から始まりました。

その中で、特に印象的だったのは、狩猟が単なる「動物獲り」ではなく、地域の安全を守り、命のバトンを繋ぐ「高度なプロの仕事」であるという点でした。

厳しい試験や警察の審査をクリアした狩猟者は、いわば「地域社会から信頼を公認されたプロ」であり、またクマ被害の増加は、里山の変化という社会全体の課題だということにも気づきました。狩猟者はその最前線で、環境を守る使命（自然と人間との境界線を守る重要な役割）を担っているのです。

その中でも、命を価値に変えるということが、大切な考え方でした。適切に処理されたジビエは、感謝と共に頂く最高のおいしい資源であり、衛生管理に関しては、特に厳しい法の下管理され、併せてそれを調理する技術が、その価値を支えていました。これは、単に熊に対して「怖い」ということだけではなく、私たちが何らかの形で共存をしていかなければいけないということです。

今回のお話は、「究極の三方良し」だと感じました。地域の困りごとを解決し（地域良し）、命を無駄にせず価値を生み（社会良し）、専門技術で信頼を築く（自分良し）。地域の方々との信頼関係や、緻密なルール遵守といった「目に見えない誠実さ」こそが、活動の根幹であることを学びました。

青年部の中からは、業務の関係で山に入らざるを得ない仕事をしているが、従業員がなかなか行きたがらない、実際自分自身も行くのが怖い、どう対応したらよいか、などの質問が出るなど、活発な質疑の時間もありました。なかなか対峙してしまったり動けなくなってしまうのは致し方ないと思いますが、恐怖で日常の社会活動がストップしてしまわないよう、私たちも正しい知識をもって、熊と共存していかなければいけないと改めて感じさせてもらえる貴重な機会でした。



集合写真



講師 佐々木貴世子 氏



大泉部会長



当日の参加人数は40名



皆さん真剣に拝聴していました

青年部会会員の声

部会員募集中



研修委員会委員 井筒洋二朗
アルファクラブ東北(株)葬祭部さがみ典礼
青年部会では、仲間と楽しく学び、つながりを広げています。研修会や社会貢献活動を通して、笑顔あふれる時間の中でともに成長できます。新しい出会いと体験を、ぜひ一緒に楽しみましょう。



研修委員会委員 滝野克
ライフトラスト(株) 常務取締役
青年部会では、税に関する知識を体系的に学べるほか、多彩な研修を通じて見識を高めることができます。さらに、経営者同士の情報交換により、実務に直結する学びを得られる貴重な場です。



厚生委員会委員長 川崎奈々子
大同生命保険(株)きた東北支社盛岡営業部 営業推進員
中学生への租税教室では私たちが思い付かないような自由で面白い意見を聞くことができたり、先生気分可愛い未来の納税仲間と新鮮な時間を過ごしています。法人会青年部会は学びがあり地域貢献もできる楽しい場所です。



研修委員会副委員長 浅沼智之
(株)みらい測量 代表取締役
士業法人を経営している者として、自分の専門の土地家屋調査士の実務だけでなく、税務や経営を学べる法人会青年部は非常に貴重な存在です。行政の動きを直接知ることができ、毎回多くの気づきがあります。

盛岡法人会会員である企業であれば、50歳以下の従業員の方も青年部会に入会できます。個人の成長の機会や、人脈づくりなど、ぜひ青年部会へのご入会をお願いいたします。

税制改正に関する提言

盛岡市

令和7年11月17日(月)



(左) 久慈竜也税制委員長
(中) 内舘茂市長 (右) 浅沼晃会長

滝沢市

令和7年11月21日(金)



(左) 武田哲市長
(右) 木村昭仁支部長

八幡平市

令和7年12月1日(月)



(左) 佐々木孝弘市長
(右) 高橋守支部長

矢巾町

令和7年12月1日(月)



(左) 高橋昌造町長
(右) 竹花寛幸支部長

紫波町

令和7年11月14日(金)



(左) 佐々木盛雄支部長
(右) 熊谷泉町長

雫石町

令和7年11月26日(水)



(左) 猿子恵久町長
(右) 高橋憲功前支部長

セミナーのご案内

新入社員から若手社員向け

しっかり身につく! ビジネスマナー基礎講座

令和8年4月23日(木) 13:30~16:30

講師: 内山 美香 氏 (voice forward 株式会社 代表取締役)

講座内容

- ・ビジネスパーソンへのシフトチェンジ再確認
学生と社会人の違い
必要なマナー、自身が実現したいこと
- ・第一印象の大切さ
身だしなみ、姿勢、表情、態度

- ・ビジネスコミュニケーション
挨拶、お辞儀、
名刺交換、電話応対 等
- ・仕事の進め方
指示の受け方、
報連相 等
- ・マインドを整えるヒント



会場: 岩手県法人会館
定員: 先着 40 名
受講料: 無料

QRコードからも申込できます▶



岩手町

令和7年12月5日(金)



(左) 佐々木光司町長
(右) 中村祐紀支部長

開催事業

経営セミナー

開催日：令和8年1月21日 出席者5名
 講師：村山 寛樹 氏
 (株)ライフデザインラボ
 代表取締役)
 演 題：若手・中堅社員定着対策



経営セミナー

開催日：令和8年1月27日 出席者2名
 講師：池田 有美 氏
 (行政書士事務所 UMC サポート
 代表行政書士)
 演 題：人手不足対策



確定申告書の見方・書き方

開催日：令和8年2月10日 出席者2名
 講師：石川 潤平 氏
 (盛岡税務署)
 演 題：法人税のあらましと申告の手引



経営セミナー

開催日：令和8年2月12日 出席者16名
 講師：福山 和麻 氏
 (盛岡税務署 統括国税調査官)
 宇都宮 美和子 氏
 (もみじ社労士オフィス 代表)
 演 題：年収の壁 徹底対策セミナー



中小企業セミナー

開催日：令和8年2月13日 出席者15名
 講師：林 忠史 氏
 (株)マシーエージェント 代表取締役)
 演 題：経理の実力ステップアップセミナー



決算説明会

開催日：令和8年2月19日 出席者6名
 講師：石川 潤平 氏
 (盛岡税務署)
 演 題：会社の決算・申告の義務



支部事業

雫石支部

新春記念講演会

開催日：令和8年1月15日
 講師：ふじボン 氏
 (岩手にこだわる地元タレント)
 会 場：雫石町中央公民館
 出席者：67名



都南支部

新春講演会

開催日：令和8年1月28日
 講師：吉田 晃 氏
 (盛岡神子田朝市組合長理事)
 会 場：都南文化会館キャラホール
 出席者：27名



西根・安代支部

合同経済講演会

開催日：令和8年2月3日
 講師：片山 健也 氏
 (前二セコ町長)
 会 場：新安比温泉静流閣
 出席者：54名



年会費口座振替サービス 利用のお願い

盛岡法人会では、会員皆様の利便性向上を図るために令和6年度より年会費口座振替サービスを導入しております。令和8年度の口座振替日は5月27日です。

お手続きがお済でない会員の皆様は、ぜひご利用下さいますようお願い申し上げます。

口座振替をご希望の方は、事務局(TEL：019-654-4955)までお問い合わせください。

流通センター支部

税務セミナー

開催日：令和8年2月3日
 講師：檜山 直孝 氏
 (智創税理士法人 盛岡事務所)
 会 場：ラポール盛岡
 出席者：16名



滝沢支部

令和8年度税制改正セミナー

開催日：令和8年2月3日
 講師：福山 和麻 氏
 (盛岡税務署)
 会 場：滝沢市商工会館
 出席者：10名

